

本邦において全般的にアレルギー疾患は増加傾向にあり、消化管領域でも好酸球性食道炎の罹患率は増加しつつある。最近、学会などにおいても好酸球性消化管疾患やアレルギー性消化管疾患は主題のテーマとして取り上げられる機会が増加している。

本特集では好酸球性食道炎と、いわゆる好酸球性胃腸炎を含む好酸球性消化管疾患を中心に臨床医に必要な最新の情報についてガイドラインを交えて紹介できたと思う。とくに好酸球性胃腸炎(最近では臓器ごとの名称が推奨されている)においては難治例が多く、ステロイド依存例や抵抗例も経験し、生物学的製剤の保険適用が望まれる(個々の生物学的製剤の作用機序や臨床成績の現状は本文参照)。潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患の急激な罹病率増加のように、好酸球性消化管疾患が今後増加するかは大変興味深い。いずれにしても、好酸球性消化管疾患は今後注目すべき疾患と思われる。

食物に対する有害反応として、その病態から好酸球性消化管疾患はIgE依存性と非IgE依存性の混合性といわれている。非IgE依存性の代表は新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸症であり、IgE依存性として食物アレルギーが挙げられる。これらの疾患は、一般消化器内科医には馴染みは低いが知っておくべきである。T細胞が関与するセリアック病は本邦ではきわめてまれな疾患ではあるが、今後増加するかもしれないし、国際化が進む社会において遭遇する機会は増加すると思われる。

本号において消化管アレルギー疾患の理解が深まり、一般臨床のお役に立てることを期待する。

(藤原 靖弘)

臨牀 消化器内科® Vol. 38 No. 6

©2023 年 5 月 20 日発行

定価 3,300 円
(本体 3,000 円 + 税 10%)

・2023年 年間購読料(増刊号含む 13 冊, 税込)
冊子版 43,450 円
電子版(個人のみ)43,450 円
冊子版 + 電子版(個人のみ)48,950 円
(詳しくはホームページをご覧ください)
・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社
までお申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

ホームページ <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 03-3814-8541